

第2回 検討会資料

第2回(平成26年9月16日)

- ・全国解体工事業団体連合会 ……建設業団体
- ・建設業振興基金 ……建築施工管理技士の試験機関
- ・日本建設機械施工協会 ……建設機械施工技士の試験機関

今後実施予定

●試験機関

- ・全国建設研修センター ……土木施工管理技士
- ・日本技術士会 ……技術士
- ・中央職業能力開発協会 ……とび技能士
- ・全国解体工事業団体連合会 ……解体工事施工技士

●建設業団体

- ・日本建設業団体連合会、全国建設業協会、日本鳶工業連合会

【建設業団体】全国解体工事業団体連合会の概要

名称	公益社団法人全国解体工事業団体連合会 (英語名称: Japan Demolition Constructors Association)
事務局(所在地)	東京都中央区八丁堀4-1-3 安和宝町ビル6階
設立	平成5年9月28日: 社団法人認可 平成25年4月1日: 公益社団法人に移行
会員数	正会員: 41団体(傘下企業数: 約1,450社) 賛助会員: 17団体 名誉会員: 4名
役員数	15名
主な事業 (定款上の主な 事業)	①建物解体工事技術等に関する調査・研究 ②解体工事業の合理化・近代化のための調査 ③解体工事に従事する技術者・技能者の育成 ④建設廃棄物の適正処理・処分に関する調査・研究 ⑤解体工事に関する講習会研修会の開催 ⑥その他

※全国解体工事業団体連合会のホームページを参考に作成

【試験機関】建設業振興基金の概要

名称	一般財団法人 建設業振興基金
所在地	東京都港区虎ノ門4丁目2番12号 MTビル2号館
設立	昭和50年7月16日
目的	建設産業界の近代化・合理化を推進し、建設産業の振興に寄与すること
主な事業	<ul style="list-style-type: none">①建設業者団体、事業協同組合等が行う共同事業に必要な資金に係る借入れについての金融機関に対する債務保証(③に該当するものを除く)②建設業者団体、事業協同組合等が行う共同施設の整備に必要な資金に係る借入れに対する助成③建設業者団体、事業協同組合等が行う貸付事業並びに工事請負代金債権の買取事業及び支払保証事業に係る保証債務の履行(中小建設業者等への資金供給の円滑化及び下請保護に資するもの又は企業連携の推進に資するものに限る。)に必要な資金に係る借入れについての金融機関に対する債務保証④建設業の安定化に関する調査研究、指導、助成等⑤建設業の構造改善に関する調査研究、指導、助成等⑥海外建設技能実習生の受入れ及びその実施に係る無料職業紹介⑦建設業の経営に関する改善指導⑧建設業における情報化の推進⑨建設業に関する総合的な調査研究⑩建設業法に基づく技術検定のうち建築施工管理及び電気工事施工管理に係る試験等の実施⑪建設業法施行規則に基づく登録経理試験の実施⑫その他基金の目的を達成するために必要な事業

※建設業振興基金のホームページを参考に作成

名称	建築施工管理技術検定試験				
実施機関	一般財団法人 建設業振興基金				
目的	建築工事に従事する施工管理技術者の技術の向上を図ること				
等級	1級		2級		
種別	種別なし	建築	躯体	仕上げ	
試験方法・試験科目	学科試験	択一式:140分 (午前の部) 択一式:130分 (午後の部)	択一式:150分	択一式:150分	択一式:150分
		建築学等 施工管理法 法規	建築学等 施工管理法 法規	建築学等 躯体施工管理法 法規	建築学等 仕上施工管理法 法規
	実地試験	記述式:180分	記述式:120分	記述式:120分	記述式:120分
		施工管理法	施工管理法	躯体施工管理法	仕上施工管理法

※建築施工管理技術検定「受験の手引」を参考に作成

【試験機関】日本建設機械施工協会の概要

名称	一般社団法人 日本建設機械施工協会[略称:JCMA] (Japan Construction Machinery and Construction Association)
所在地	東京都港区芝公園三丁目5番8号 機械振興会館内
設立	昭和25年8月18日
目的	建設機械及び建設施工に関する技術等の向上と普及を図り、もって国土の利用、開発及び保全並びに経済及び産業の発展に寄与すること。
主な事業	<ul style="list-style-type: none">①建設機械・施工に関する試験・調査・研究・技術開発②建設機械・施工に関する普及・支援活動③建設機械・施工に係る技術者・技能者の育成及び資格付与④建設機械・施工に関する事項の高度化及び標準化の推進⑤災害時の応急対策等に関する支援⑥建設業法に基づく技術検定のうち建設機械施工に係る試験等の実施⑦建設機械工業の振興⑧建設機械の輸出の振興⑨建設機械・施工に関する関係方面への建議又は勧告⑩国際交流活動⑪その他本会の目的を達成するために必要な事業

※日本建設機械施工協会のホームページを参考に作成

名称	建設機械施工技術検定試験	
実施機関	一般社団法人 日本建設機械施工協会	
目的	建設工事の機械化施工に従事する技術者の技術の向上を図る	
等級	1級	2級
種別	種別なし	<ul style="list-style-type: none">・第1種 トラクタ系建設機械・第2種 ショベル系建設機械・第3種 モーター・グレーダー・第4種 締め固め建設機械・第5種 ほ装用建設機械・第6種 基礎工事に用建設機械

※建設機械施工技術検定試験「受検の手引」を参考に作成

建設機械施工技術検定の概要②

等級		1級	2級
試験方法・試験科目	学科試験	択一式:150分 記述式:60分 土木工学 建設機械原動機 石油燃料 潤滑剤 法規 建設機械 建設機械施工法	択一式:60分(共通試験) 択一式:60分(種別試験) 共通試験 土木工学、建設機械原動機、石油燃料、潤滑剤、法規 種別試験 第一種 トラクタ系建設機械、同施工法 第二種 ショベル系建設機械、同施工法 第三種 モーター・グレーダー、同施工法 第四種 締め固め建設機械、同施工法 第五種 ほ装用建設機械、同施工法 第六種 基礎工事用建設機械、同施工法
	実地試験	記述式:60分 実技試験 記述式 建設機械組合せ施工法 実技試験(2科目選択) ※右記の2級と同じ科目(6種の施工機械)のうち2種目を選択	実技試験(種別試験) 種別試験 第一種 トラクタ系建設機械操作施工法 第二種 ショベル系建設機械操作施工法 第三種 モーター・グレーダー操作施工法 第四種 締め固め建設機械操作施工法 第五種 ほ装用建設機械操作施工法 第六種 基礎工事用建設機械操作施工法